

会議記録簿（HP掲載用）

件名	第3回（仮称）魚津市観光地域づくり法人（DMO）設立準備会		
日時	令和6年7月26日（金）10:00～11:20	場所	魚津市役所 2階 第1会議室
出席者	会議次第等参照		
事務局	市：石黒副市長 赤坂産業建設部長、政二商工観光課長、 高嶋商工観光課観光戦略係長、蒔崎主事 商工会議所：大崎専務理事		
内 容	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none">（仮称）魚津市観光地域づくり法人（DMO）設立に向けて、これまでの検討内容及びシンポジウム結果の共有。また、（仮称）魚津まちづくり会社株式会社との組織の統合について説明し、意見交換を行うもの。 <p>【木下会長：挨拶】</p> <ul style="list-style-type: none">夏になり、魚津市も交流人口が増えてくる時期。昨年、コロナウイルスが収束に向かい、インバウンドが全国で毎月300万人超えている。今の勢いだと、過去最高の人数になると思われる。魚津市も人口減少が進む中、市外からの来訪者を増やすこと、それが地方経済の活性化の近道だと思っている。観光、まちづくりを専門に考える会社を作り推し進めようということで、それぞれ別の組織にするのか、統合するのか、本日、皆様と議論をしながら、その方向性について話ができると思う。 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none">次第に従い事務局より説明<ul style="list-style-type: none">これまでの取組み…資料①第2回設立準備会（R6.2/29）の振り返り…資料②7/9（仮称）魚津市観光地域づくり法人（DMO）設立準備シンポジウムについて…資料③ <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none">次第に従い事務局より説明<ul style="list-style-type: none">統合（案）について…資料④役割（案）について…資料⑤組織体制・実施予算（案）について…資料⑥設立準備委員会（案）について…資料⑦ <p>【質疑応答・意見交換】</p> <p>委員：統合という方向で進んでいるので、統合以外の選択肢はない。企業で事業部制というものがあるが、例えば観光事業部とまちづくり事業部で、それを統括するのが代表であり、そういう形でも良いと思う。別々にやると非常に効率が悪い。</p>		

委 員：統合には大賛成。やはり、目標は地域振興・地域の活性化で同じ、組織は2つ1つで良い。理事・監事は、大体似たような組織の代表者の方々なので、一堂に会し喧々諤々と意見を述べていけば、徐々にまとまっていくんじゃないかと思う。
気になったのは職員体制で、市の職員兼務って書いてありますけども、これは、市の仕事もしながら、なおかつこの仕事もやって、専門的に張りつけるわけではないということか。

⇒事務局：まずは、兼務体制をとりたいと思ってる。

委 員：将来的には、専門職を張りつける努力をしてほしい。

委 員：人材など同じような方にお願いする形になると思うし、この規模の街で、多様な人が要するに、2つの組織を作るというのは、もったいないかなと思うので、統合して効率よく進められれば良いと思う。

委 員：先ほどDMOは観光庁に届けて、補助金等色々あるとお聞きしましたが、まちづくり会社はどこかに届けて、補助金制度などあるのか。また、市議会において、統合したほうがいいんじゃないかという意見が出たということなんですが、その辺の雰囲気など詳しく教えて欲しい。例えば、この準備会において、別々にやろうと決めたとしても、市議会の意見は、そうじゃないんだ、統合すべきだという意見が強いとなると、途中でまた方向転換しなきゃいけなくなるということもあるかもしれない。基本的なことをちょっと教えていただけないか。

⇒事務局：まちづくり会社については、特段、設立して、どこかに登録しなくちゃいけないってことはない。また、DMOの登録に関して、このまちづくり会社の仕事をするから何か影響があるかといえば、それほどないと思っている。

3月の市議会まちづくり特別委員会において、まちづくり会社とDMOについて、いろいろと議論してきたところ。特別委員会において、長野県佐久市のまちづくり会社なども視察され、それぞれの組織を作るのではなく、一体となった組織を作った方が効率的にいいんじゃないかという提言を受けている。

⇒事務局：補足をしますと、こういう小さな規模の街で、2つの法人を作るとなると、代表者を2人置いて、役員がそれぞれ必要となる。準備会の構成メンバーを見ましても似通っていますし、果たして効率的なのかということです。

先ほど、委員から事業部制とかご提案もございましたけれども、1つの法人にして、代表者を1人置いて役員を置いて事業制にすれば効率的ではないかということが、特別委員会からのご提案である。

委 員：皆さんのお話、そして昨年からの取り組みを聞いてましたら、DMOとまちづくり会社は統合すべきだと私は思う。

委 員：統合がいいかどうかの話を、その前に1つ、事務局に確認したい。

DMO単体の場合は一般社団法人、統合の場合は株式会社ということになるのはなぜか。

⇒事務局：DMOは多様な関係者の巻き込みが必要であり、株式会社にすることにより、皆様方へ出資のお願いをしていく必要もあり、それを足掛かりに、皆様から様々な意見をいただされることになるかと思っており、今のところ一般社団法人より株式会社が良いかと思っている。また、先日のシンポジウムの講師「かまいしDMC」さんをモデルケースにしたらどうかというのが、今の事務局

内 容	の案。
	⇒事務局：一般社団法人と株式会社の関係ですが、DMOは観光のPRを行うもので、一般社団法人として、公共性を広く持った組織としている。また、株式会社まちづくり会社の方は、デベロッパー、土地の売買などを行う予定で、出資を求めながらハード整備を行っていく。ここで2つの組織が一緒になることで、民間的な発想をもってツアー等を広く販売していく、そういうところで、株式会社形式にすることで効率よく、こちらとしても、事業者様と一緒に進めていけるだろうということで、株式会社方式を採用したいと考えている。
	委 員：株式会社になると、配当も考えているのか？
	⇒事務局：色々な会社さんともお話しているが、いずれ売上がでれば、出資された方に対しての配当も出てくると思う。
	委 員：前回（7月9日）シンポジウムの意見に記載があったが、統合した場合は、単体の組織よりも、観光の分野がぼやけてしまうのではないかという意見があった。その辺を払拭できるんであれば、きちんと整理し指揮統括できるという体制であれば、統合でも良いかなと思う。
	委 員：統合について、賛成。効率的で良いと思う。
	委 員：統合については、事務局の資料で作られたメリット・デメリットに的確に記載されてる内容そのものだと思う。 統合という形で進めざるをえないし、若干の問題があると思いますが、それをクリアしながら、効率よくやることだと思う。 もう1点は、組織（案）がありましたけど、事業統括マネージャーにおいては我々がいろいろ考えるアイディアよりも、こういったことに推進的に取り組む方が必要。そういったことにおいて、新たなアイディアや取り組みを参考にさせていただきながら、我々もそれとあわせて、取り組んでいく必要だと思う。
	委 員：確認ですが、統合した組織体制（案）、事業統括マネージャーとしてDMOグループ、まちづくり会社グループ、その下にスタッフ、3人と4人、合計7人のスタッフで運営するということですね。そうであれば、それぞれの部門で仕事ができるので、統括しても問題はないと思う。
	委 員：観光案内所は観光案内だけでなく、よろず相談窓口みたいな感じになっていて、例えば、東京あたりから移住してきた方々から、空き家物件など色々相談を受けるんですが、案内所では窓口を紹介するぐらいしかできない。統合した組織になれば、ワンストップサービスまでいかないかもしれないが、そういう形でできるんじゃないかなと思うので、統合には賛成。
	委 員：皆様方からご意見いただいている通りで、統合以外の選択は難しい。街の規模感だったり、取り組みの内容だったり、それから、そもそも論として目指すべき所がどこにあるのかって言ったときに、DMOでもまちづくり会社でも目指すべき方向、方向性は一致してはるはずですので、といった意味では、やはり組織として統合という形で進めていくのが望ましいと思う。 その中で決定的に大事になってくるのは、事業統括マネージャー。正直経験が

	<p>ない方は出来ない、専門的な方をしっかり入れていかないと回らない。</p> <p>委 員：私は、（DMOとまちづくり会社の）組織は2つに分けて、特化してやっていいと今でも思っているが、人口が4万人を切っている。（DMOとまちづくり会社）両方一緒に浮上してきた話なもんですから、議会でも、1つの組織で出来ないかという話になったと想定している。これが2年か3年違っていたら、それがスタートして、合併ということになったかもしれない。いろんな分野に首を突っ込むよりも、特化した方が事業が進みやすい。1つの問題は、2つ会社があると2人の社長が必要、社長の兼務もあるかもしれないが、その人材をどう探していくかという現実的な問題がある。スタッフについても、少し余計に必要なものですから、集められるかということが、時期的に、現実的に難しいかと思う。議会からの提言を受けて考えていたが、こういう時期だから、2つ1つでスタートさせる方が、時間的には早いだろうなと感じている。現時点では、統合した方が良い。DMOの方が先に話が進んでおり、当初、今年の春にはもうDMOがスタートする予定だったが、トップがなかなか決まらないということがあった。私は2つを1つにして進めると、一気に進むんじゃないのかなと現実的には思っている。</p> <p>委 員：もともと観光の話とまちづくりの話は共通する部分も多いが、それぞれ別の話としてスタートし、取り組む主対象は重なるけれどもちょっと違ってるところもあり、そういう意味では、2つの取り組みということで進んできた。ただ先ほどからの議論のとおり、この魚津市においてその2つの組織を別々につくる時に、人材にしろ財源にしろ事業にしろ、どうしても重複するのが出てくると、そういうところを効率的にやるとすれば、統合してきちんと、そこら辺をうまくマネジメントしてやっていく方がいいんじゃないかと思う。ただ統合して効率的にやるといったときに、それをきちんと動かすときにはその組織づくり、特に統括マネージャー、この方の人選が一番、重要になってくると思う。組織づくりと、そのための人選をどうするか、今後の課題だと思っている。そういうところをきちんと見渡して差配できるような方を探して、どういう組織にして、どういうふうに当てはめていくかということは、今後、委員の皆さんにご相談申し上げたい。</p> <p>事務局：先ほど会長が言われた通りでございまして、私たちも、最初にDMOという話をお聞きしていて、まちづくり会社というのは今後の話だった。DMOは必要と思っていて、商工会議所の職員も中小企業の支援も増えてきており、職務分担を整えていく必要がある中、観光の方も力を入れてやっていくということで、商工会議所から独立した形が良いと思っていた。皆様が言われたとおりで、まちづくり会社というものを設立するところであり、一緒に統合して設立した方が良いと思う。</p> <p>委 員：観光協会長に10年以上就任して、観光、交流人口の増加に関するこに携わってきた。そういう中で、全国の事例を聞いておりますと、観光に特化した組織、いわゆるDMOの組織があちこちで誕生てきて、そこへ観光庁の資金を入れ、さらに事業化していっている事例を聞いている。人口減少の地方において、活性化させる1つの手段として、観光に特化して、強力に行政とともに動かすには、そういう組織が必要だろうということを数年前から、随分感じてきている。この状況の中で、今やらないと、この次いつ、この話が浮上するかも分からな</p>
--	--

	<p>い。このタイミングを逃すと、なかなか出来ない。</p> <p>皆様方からご意見を賜りましたが、単独で2つ別々に設立する、というご意見が少なかったように思いますし、事務局から提案された統合の方が早いし、やりやすいし、人材を確保する上でも良いだろうということで、合意形成が図られたと思う。そういう方向で良いですね。</p> <p>～皆様、了承～</p> <p>【その他】</p> <p>次第に従い事務局より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュール（案） …資料⑧ ・発起人会について …資料⑨ <p>内 容</p> <p>事務局：今、事務局としては株式会社でいきたいという案は出しているが、今後、一般社団法人がいいのか株式会社が良いのか、発起人会の人選も並行して進めていきたい。8月もしくは9月に、統合した設立準備委員会を開催したいと考えており、皆様方にもご相談させていただきたい。</p> <p>【閉会の挨拶】</p> <p>事務局：皆様、本日は様々なご意見、ありがとうございます。</p> <p>先に開催された、まちづくり会社設立準備委員会の方でもご意見を賜っている。本日統合に向けてということで、こちらのDMO設立準備会でもご意見をいただいた。発起人会について9月設立に向けて、準備を進めたいと思っている。皆様方からご意見をいただいたとおり、組織づくり、それから人選、これらが課題であり重要ということで、しっかりシミュレーションしながら組んで参りたい。引き続き皆様方から、忌憚のないご意見を賜りたい。</p> <p>【閉会】</p>
--	--